

総合ルール追記分

● キーワード【コスト軽減】

《気化爆弾》

使用タイミング: 通常

【コスト軽減】これを手札からプレイする際、[手札を1枚デッキの下に置く]事で、1コストでプレイしてもよい。

■セットカードを全て破壊する。

- ▶ 【コスト軽減】は、カードをプレイする際に、レベル分のエナジーを支払うコスト(14-3b-6a)を変更する常時能力に付加されるキーワードです。
- ▶ 【コスト軽減】内の処理は、実際に支払うためのエナジーの点数を決定する段階で処理することができます。この処理は任意で、常に実行せずに元のエナジーの点数をコストとすることが可能です。
- ▶ ルーラーが《オーバーロード》の場合、【コスト軽減】の処理を実行することは可能ですが、その変更されたコストに関係なく(その結果が0になった場合を含み)1 エナジーを支払う必要があります。

● 手札からのカードの移動に関して

《気化爆弾》

使用タイミング: 通常

【コスト軽減】これを手札からプレイする際、[手札を1枚デッキの下に置く]事で、1コストでプレイしてもよい。

■セットカードを全て破壊する。

- ▶ カードが手札からデッキに移動する場合、そのカードを公開する義務があります。
 - これは【オープンカード】による不正を回避するのが目的です。

● キーワード能力【直衛召喚】

《戦錬のヴァベルシオン》

【コスト軽減】これを手札からプレイする際、[手札を1枚デッキの下に置く]事で、2コストでプレイしてもよい。

【直衛召喚】(即時:相手のターン中、これを通常召喚する。)

- 「 Gondul・フルバースト」 通常: [DR3]場の相手のカード1枚を選び、墓地に置く。
- ▶ キーワード能力【直衛召喚】は、「相手ターン中、あなたは手札にあるこのカードを即時タイミングで通常召喚してよい」を意味する常時能力です。
 - コストは支払う必要があります。ただし相手ターン中なので、召喚権は必要としません。

● ゲームアクション「ダメージリバース」

《戦錬のヴァベルシオン》

【コスト軽減】これを手札からプレイする際、[手札を1枚デッキの下に置く]事で、2コストでプレイしてもよい。

【直衛召喚】(即時:相手のターン中、これを通常召喚する。)

- 「 Gondul・フルバースト」 通常: [DR3]場の相手のカード1枚を選び、墓地に置く。

- ▶ ゲームアクション「ダメージリバース」は、自分のダメージゾーンにある表向きのカードを指定枚数裏向きにする行動を意味します。
- ▶ ダメージリバースは、テキスト上は「DR(数値)」の形で表記されます。これは「ダメージゾーンの表向きのカードを(数値)枚裏向きにする」ことを意味します。
 - ダメージゾーンの表向きのカードの枚数が指定の枚数に不足する場合、そのダメージリバースは実行できません。
 - ダメージゾーンで裏向きになっているカードは、そのダメージゾーンが属するプレイヤーは内容を確認することができます。
- ▶ 「DR(数値)/(条件)」の形で表記されるダメージリバースは「ダメージゾーンの(条件)である表向きのカードを(数値)枚裏向きにする」を意味します。
 - この条件は「DR(数値)/(条件1)・(条件2)」のように中黒で分割した複数の条件になることがあります。この場合、これらの条件のうちいずれか1つ以上を満たすカードを裏向きにします。
- ▶ ダメージゾーンで裏向きになっているカードは、そのカードに表記されている情報を持ちません。ただし、ダメージゾーンの各カードは、表向きか裏向きかに関係なくダメージゾーンのカード1枚として扱います。
 - ダメージを回復する場合、表向きか裏向きかに関係なく任意のカードを回復する(ダメージゾーンから墓地に置く)ことができます。
- ▶ ダメージゾーンの裏向きのカードは、効果によってプレイすることができません。
 - これには、例えば《シュレディンガーの猫》をプレイして表向きの状態の時に選んだカードが、その解決時に裏向きになっている場合を含みます(その場合、プレイは行われません)。

● ゲームアクション「オープンする」

《悪魔少女カラベラ》

- 「アンタに爆弾【ゲーム1】」これがオープンされて場に出た時、相手に2ダメージを与える。
- 「アンタにも爆弾【ゲーム1】」これがオープンされて場に出た時、君は2ダメージを受ける。

- ▶ 「オープンされる」とは、「このカードが【オープンカード】の効果によってプレイされる」を意味します。
 - 「オープンされて場に出る」とは「このカードが【オープンカード】の効果によってプレイされ、それが解決されることで場に出る」を意味します。
 - 何らかの手段でこのカードが【オープンカード】の効果以外でプレイされた場合(《シュレディンガーの猫》によりダメージゾーンからプレイされる等)、それは「オープンされた」ものとはみなされません。

● 二重カギ括弧(『』)による能力表記

《牛鬼 天魁》

- 『百鬼夜行』では、これをレベル0として扱う。

- ▶ 二重カギ括弧(『』)で能力名を参照する場合、それは「その二重カギカッコ内の語句を能力名の一部に持つ能力」を参照します。
 - ある能力Aが二重カギ括弧で特定の能力名を含む能力Bを参照している場合、能力Aはその能力Bのプレイや解決や効果においてのみ、すべての領域において有効です。